

学んだ論語を生かす

秋山 和規

伊里中学校は、地域に根差した学校を目指しています。小中一貫教育校伊里学園としても、「確かな学力・豊かな心・健やかな体で、郷土を誇りに思う伊里の子どもたち」の育成を目標に挙げて、様々な活動に取り組んでいます。

その中でも、特に「論語」の学習に力を入れており、月に一度立花先生を講師にお招きし、月の論語を選定していただき、解説を受けた後朗読し、その後毎朝の会、各クラスで朗読し、その意義の定着を図っています。

更に、全校論語かるた大会、伊里中論語検定など、独自の取組を進めています。

そして今年、そのような形で学んできた論語を広く発信していこうと、2年生の広島研修で新たな取組を行いました。

毎回、広島研修では平和学習の一環として、平和祈念像の前で「平和の誓い」を全員で朗読するのですが、今回その「平和の誓い」の代わりに「論語」を取り入れてみました。

平和に関する論語を立花先生に選んでいただき、選ばれた3つの論語を平和祈念像の前で全員で朗読しました。

大きな悲しみを越えて、平和への誓いを新たにする広島平和記念公園で、常から学んでいる地域の誇りである論語を朗読することで、平和学習と地域学習が結びついたように思います。

同時に、備前市＝論語という地域の学びと誇りを、アピールできたように思います。

地域を誇りに思い、学んだことを生かしてたくましく自分の人生を生きていく伊里の子どもたちであってほしいと願っています。